



輝桜祭まであと1週間 『つながり』を心に

2学期に入り、朝の校舎に入る前の健康チェック、家族の体調による登校見合わせなど、県へのまん延防止重点措置発令に伴い、より丁寧な対策を行ってきました。週明けの措置解除に伴い、地域感染レベルも下がることから、1学期までの対応に戻すこととなります。しかしながら、いつ感染が起きても不思議ではない状況でもあり、引き続き感染症対策については、これまで同様徹底していきますので、ご協力をお願いします。

学園祭についても延期等の検討が要請され、本校でも1週間の延期や参観の制限、体育部門の前日開催などの対応をしてきました。制約はありますが、輝桜祭は身延中生徒にとって最大の行事であり、最も大切に思っているものです。学級学年や全校が大きく成長できる時でもあります。できることを工夫して、十分注意をして、スローガンである『つながり』を心から感じ、表現できるような輝桜祭を必ず創り上げていくはずです。



交通防犯弁論大会 感染症対策でビデオでの弁論になり、練習もままならない中、4人の生徒が弁論を発表しました。これまでの様々な経験から、堂々と自分の考えや思いを発表している姿は4人とも素晴らしく感動しました。最優秀賞に選ばれた中込杏果さんの弁論では、身近にまで迫っている薬物の怖さ、「最初の1回」に絶対に手を出さないことなど、強く訴えかけてくれました。ぜひ皆さんに聴いてほしかったです。後半の部分を一部載せます。

- 防犯弁論 最優秀賞 中込杏果 『「1回だけ」から始まる恐怖』
- 優秀賞 平田璃々香 『人と人との繋がりを大切にできる社会の実現に向けて』
- 交通弁論 優秀賞 幡野彩音 『交通ルールを守ることの意義』
- 努力賞 馬場結月 『思いやりがつかえる安全な社会』



「自分は依存しない」と思っているけど、脳がダメージを受けるので、自分の意志で依存しないということはできない。一度手を染めてしまうと抜け出せなくなってしまう薬物。

だとすると、やはり絶対に「最初の1回」に手を出してはいけないということだと思おう。薬物は自分には関係のないことと思っているのではなく、「いつ誘われるかわからない」と思うこと。もしかしても仲の良い人、尊敬している人、大好きな人から薬物を誘われたら…。絶対に断れるだろうか。でも、断らなければならぬ。そのときは突然やってくる。もし誘われたらどうやって断れば良いかということまで考えておくことも必要なのではないかと思う。そのためにも、誘われる場面をいろいろと想定して、対処の仕方を考えたり学んだりできる機会があると良いのではないだろうか。

SNSで誰とでも簡単に繋がることができ、欲しいものが手に入る今、薬物は遠い世界の話ではない。何事にも備えるは必要。「自分だけは大丈夫。」ではなく、いつも危険と隣り合わせにいるという心構えをもって生活していきたい。

夏休み中の大会 3年生にとっては締めくくりとなる大会。様々な思いは後輩たちに伝わっているはず。お疲れ様。

■ 県総合体育大会

野球 ●0-7 泉・武川

男子バドミントン 団体戦 ○3-0 芦安 ●1-2 鯉沢
シングルス 望月虎太郎 / 上田国善 2回戦進出
ダブルス 佐野悠・小林零 / 竹ノ内利徠・深沢修平 **ベスト8**

女子バドミントン 団体戦 ○2-1 南西 ●0-3 勝沼
シングルス 川村果耶 / 若狭結衣 2回戦進出
ダブルス 飯田侑杏・両角心寧 / 田中琉々・浅川蘭 2回戦進出

柔道 団体 ●0-5 湖南 個人体重別 望月悠貴 2回戦進出

男子ソフトテニス 団体戦 ○2-1 上野原 ●1-2 浅川

陸上 共男 400m 熊谷有真 58"11 **走幅跳** 望月陽喜 5m41

共女 100mH 望月あや 19"19 **走高跳** 榊原由依 1m20

2男 3000m 青柳快 11'23"31 **砲丸投** 堀ノ内聡 8m01

2女 100mH 田中琉々 19"31 **準決勝進出**

走幅跳 望月美来 3m71 **砲丸投** 望月美来 7m46

走高跳 磯邊侑里 1m25

1女 100m 中村未侑 14"66

体操 個人総合 橋爪大知 **7位** (関東大会出場) 前澤颯志 **10位**

空手 団体形 22.6点 **2位**

団体組手 ○2-1 御坂 ○2-1 一宮 **1位**

■ 全国中学生空手道選手権大会

団体形 第1ラウンド2位 (9校中) 第2ラウンド6位 (8校中)

団体組手 ●1-2 生目中 (宮崎県 全国ベスト8)

■ 県吹奏楽コンクール 銀賞

県吹奏楽コンクールでは審査員の『情景を捉えた素晴らしい演奏でした』というコメントのとおり、表情豊かな素敵な演奏でした。入部4ヶ月の1年生も多い中で創り上げた演奏はとても立派でした。



10代意見

山日新聞の『10代の意見』のコーナーに3年生の意見が掲載されています。

未来のために今
するべきことは
何でしょうか？
私は、新聞の記事を目に
引かれることがあります。
それは、「生態系保護へ88
0兆円 50年までに『投資拡
大必要』という記事でした。
一目見た時、僕は自然保護を
アピールして良いと感じ
ました。それと同時にそこま
での額を使うほどになつてし
まったのかと感じました。
△今までに積極的な地球温
暖化対策をらず、大量生産
大量廃棄などをしてきたため
ここまで来てしまったと感じ
ました。また記事では国連環
境計画(UNEP)などが「人
間は自然の恵みから多くの利
益を得ており、生態系破壊は
ビジネス上の大きなリスクに
なると警告していました。
このように今世界では、自然
を保護したり、生態系を守る
ような動きが広まっていま
す。おそらくSDGs(持続
可能な開発目標)にも関わっ
てくる大きな問題であり、と
てもすぐに解決できるような
問題ではないと思います。

△しかし、未来のために今
から少しずつできることを探
し努力すれば何とかなると思
います。例えば、地域のク
リーン活動に進んで参加する
ことや、ごみの分別、洗剤の
使用量を減らすなどの小さな
ことでも大丈夫だと思います
た。未来のために今何をする
のか考え、行動すれば、なん
とかできるし僕は考えまし
た。(身延中3年・川口晃)

これまでも望月袈利菜
さん、佐野悠さん、朝比
奈咲歩さんが載りました。
今後も続きますのでぜひ
ご覧ください。

Imagine all the people living life in peace

明日、9月11日にあった出来事を知っているでしょうか。ちょうど20年前、まだみんなが生まれてない2001年にアメリカで『同時多発テロ』と言われる、イスラム系のテロ組織が飛行機を何機も同時に乗っ取り、ニューヨークの超高層ビルなどに自爆テロで突っ込んだ衝撃的な事件がありました。飛行機の乗客はもちろん、ビルで働いていた人、救助にあたった人、3千人もの人が亡くなり、被害は甚大なものでした。被害者に対する思い、アメリカを象徴するマンハッタンへの攻撃、怒りは相当なもので、『報復』の声は圧倒的でした。



その中で、朝刊1面にたった1行の広告が出ました。それがジョンレノンの名曲『イマジン』の一節。

Imagine all the people living life in peace (想像してごらん すべての人々が平和に暮らしているところを)

ジョンレノン是世界中に知られた有名バンド、ビートルズのメンバーで、この20年ほど前にファンに撃たれて亡くなっています。その奥様であるオノヨーコさん(日本人です)が出したものです。世の中の復讐の風潮に一石を投じました。

日本も76年前に終戦を迎え、それ以来戦争のない時代を送ることができています。爆弾が投下されることも、焼けた死体のそばを歩くこともありませんでした。私たちの多くは、戦争の時代を知りません。平和な世の中と言えるでしょう。多くの方の尽力とともに、二度とそんな世の中にはしないという強い思いを受け継いできたからだだと思います。



戦争当時の日本は国全体の動きに声をあげられない社会でした。これから文化や歴史の違いもあり、経済的にも感情的にも国どうしがぶつかり、対立することもあるかもしれません。その時、どんな姿勢がとれるでしょうか。議論は大事です、でもそれが感情的な攻撃になったり、ましてや武力で解決するようなことになったとしたら…。世界では今もアフガニスタンのように明日どうなるかわからないような状況も続いています。私たちはネットに自由に文章を書ける世の中にいます。その中には感情だけをぶつけるようなものも多く見られます。一步引いて、広い視野で考えたり、伝えたりすることは大切なことだと痛感します。ジョンの言葉をじっくりとかみしめて、みんなが平和で幸せな世の中を願い、それに向けて進んでいけたらいいなと心から思います。